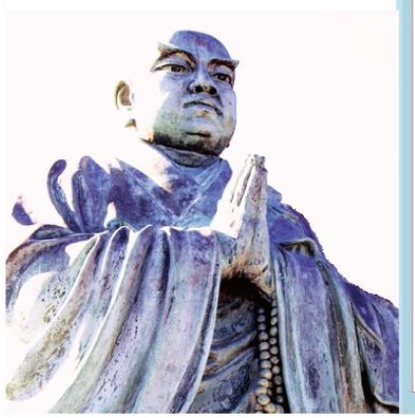
めで鯛

東の日蓮



レンタサイクルで小湊を巡るといろんなことを感じます。
ここそこから線香が香り、潮風が磯の香りをはこんでくれます。
日蓮宗宗祖である日蓮聖人生誕の地であり、
昔から信仰と生活が融合した独特の文化を築いています。
かおり風景百選のまち・小湊で出会う、
歴史・不思議・奇跡のパワーを存分に感じて下さい。

光瑞山高生寺

日蓮聖人が清澄山にて立教開宗の宣言をするために両親に別れを告げて出発するも、親子の情愛は捨てがたくいつまた会えるかわからぬと、両親を見返って合掌しお題目を唱えました。日本最古の立像銅像姿の日蓮聖人が、境内より両親と過ごした生家を今でも合掌しています。

本堂向拝には、両親を見返る日蓮聖人の姿が。

小湊巡りと天女

日蓮宗では、天女は法華経を守護するとされる女神。（正しくは七面天女）
日蓮聖人の奇跡をたどりながら小湊の寺社巡りをするなら、天女の姿を探してみて下さい。

光瑞山高生寺の天女

日蓮寺へ参拝するには
この石段を登る。
スニーカーなど歩きやすい履物がおすすめ。

「岩高山」は鴨川の人々の会話に
関所的なニュアンスで用いられる。
岩高山の向こうかこっちか、
テリトリー意識なのかもしれません。

岩高山日蓮寺

数年ぶりにお目見えした
日蓮聖人木像。
黒い姿は非常に珍しいとか。
綿帽子は季節によりおめしかえするとのこと。

妙日山妙蓮寺

日蓮聖人御両親の廟所。御尊父妙日尊儀、御母堂妙蓮尼の名を寺名としている。
御廟堂と感応堂の中庭には、日蓮聖人祈祷により母公蘇生したことを祈念し御手植された桜が。（現在のものは第五芳枝）

日蓮聖人が手植された桜はその名も「蘇生桜」。その脇には広布梅の石碑が残っている。（広布梅：妙日尊儀ご冥福を祈り植樹された梅）

妙蓮寺の龍。水面に映る姿を眺めているようで、楽しい。

日蓮聖人が小松原（鴨川市広場）法難の際養生された地。洞窟に避難した際岩砂をとり疵につけたところ不思議な効により痛みも消え血も止まったことから、今でも御血どめの霊砂を分けてくれる。

妙蓮寺境内からの通り。
人々の生活と信仰が共存していることがよくわかる小湊ならではの風景。

天津の奥座敷・清澄も、小湊と同様
信仰と歴史が融合したエリア。
清澄寺は、日蓮聖人修行の地であり、
立教開宗した地でもあります。
小湊とはちがった、パワーが集まる場所です。

日蓮聖人生誕の際に、海面近くにマダイが群をなして現れました。通常水深 30 ～ 200m の岩礁に生息するマダイが、鯛の浦では今なお水深 10 ～ 20m に生息しています。鯛の浦遊覧船で、この奇跡を是非ご覧ください。

日蓮聖人生誕の際、生家の庭から清水が湧き出ました。生家のあった集落は蓮華が淵の底に沈んでしまいましたが、誕生寺境内の一角に清水を祀った石柱を見ることができます。

日蓮聖人生誕の際に起こった、
３つの奇跡。

日蓮聖人生誕の際に海辺一帯に蓮華の花が咲き誇り以来砂浜は蓮華ヶ渕と呼ばれています。また、蓮華のようにキラキラと輝く砂を五色砂と呼んでいた、と伝えられています。

大本山小湊山誕生寺

日蓮聖人生誕の地に建立され、後天災に見舞われ現在の地に再建、小湊山誕生寺と改称したのは元禄の大津波（1703）以降。現在の祖師堂は弘化３年（1846）に再建された。祖師堂の傍には雨降り桜なる御会式頃に開花する桜があると伝えられる。

誕生寺では、毎日朝の勤行の後、晨朝法話を行っている。
仏様のお話を聞く体験はもちろんのこと、早朝のすがすがしい境内を散歩し、清らかな１日の始まりを迎える機会として、おすすめ。

祓山の頂上に位置する仏舎利塔。
山道は途中すべりやすいため
十分な注意が必要。

この先「おせんころがし」
がけっぷちの道が、勝浦方面に続きます。
昔この道が勝浦と鴨川をつなぐ唯一の道だったのです。

小湊銘菓　鯛せんべい

鯛の浦に生息する奇跡のマダイは、日蓮聖人の化身・分身とされ人々に守護されてきました。
昭和 42 年 12 月には国の特別天然記念物に指定されました。
この鯛に因み、大正時代「鈴木洋物店」店主が発案したのが、小湊銘菓「鯛せんべい」。
以来小湊を代表する銘菓として今も愛されています。・・鯛せんべい店マーク

愛嬌たっぷりのおちょぼ口が愛らしい鯛せんべいは、店によって微妙に表情が違う。